



# 古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校  
〒894-1508  
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1  
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057  
http://koniya.edu.pref.kagoshima.jp/

古高生の皆様、お正月は如何でしたか。中には、兄さん姉さんが帰省され、久しぶりの一家団圓のひと時を過ごされたものと思います。さあ、最後の学期が始まりました。特に三年生は進学、就職、試験の時です。三年間学んできた全てのことを思い出し、打ち込んでください。努力した分は必ず報われます。

さて、昨年を振り返りますと、十一月三日に関西古高会に出席し、また、同月の十二日には九州古高会に出席しました。いずれの古高会も母校への思いは熱く存続への関心も高く、また、在校生への励ましもひとしおでした。私ごとではありますが、特に九州古高会では卒業以来五十数年ぶりに担任の先生とお会いすることが出来、感極まりなく涙が浮かんできました。暮れの十三日は田中達三先生をお迎えして、古高会による合同講演会が体育館で行われました。如何でしたか。私は思い出します。それは、先生のお話を一言一句聞き漏らすまいと、真剣な眼差しで聴き入っている皆さんの姿です。私は感動を覚えました。皆さんはそれぞれ肝に銘ずるものがあつたと思います。今まさにその時です。青雲の志を持って今まさに飛び立たんとしています。

これからは、いろいろな出会いがあります。人と人との出会い、本との出会い、この出会いを大切にしてください。生きるとは、生かされているということだと実感する時が来ます。田中達三先生の言葉の端々にも如実にそれが語られておりましたね。

よく「失敗は成功のもと」と言われます。私も人生の折り返し点を通り過ぎました。よく考えてみるとそのことがよく分かります。人生を送る中で失敗は自分を育てる肥やしとなつていきます。失敗すれば恥ずかしい、悔しいかもしれませんが、何度も何度も挑戦することによってそれを乗り越えることが出来ます。その連続が人生だと思います。私も六十五歳にして大学で勉強を直して官司の資格をもらいました。生易しいものではありませんでしたが、必死になれば何とかなるものです。

君たちは、若いんだから何度でもアタックアタック。しかし頭に詰め込みすぎではいけません。たまには、息抜きが必要ですよ。よく「入入り口」と言いますが、「入り出口」とは言いません。それは何故か。出さないことには入らないからです。これが息抜きです。ホッとひと休み、体を壊しては元も子もありません。そのためには、大いに運動、スポーツに汗をかいてください。「健全なる精神は健全なる肉体に宿る。」と言われるので、ここで例にならって漢詩を一句紹介します。詩吟を吟ずるもよし。

### 勸学

盛年 重ねテ来タラズ 巷日 再ビ 晨ナリ難シ

時ニ及ンデ 当ニ勉勵スベシ 歳月ハ 人ヲ待タズ



時を無駄に過ごしてしまうと、浦島太郎ではないですが、アツと言う間に白髪のおじいちゃんおばあちゃんになってしまいます。青春、ああいいなあ、いろいろなことに挑戦してください。

結びになりますが、年頭に当たり在校生はもとより校長先生をはじめ諸先生方、また保護者の皆様方におかれまして、この一年がより良いお年でありますようお願いいたします。

古高会会長 昇 清隆

## 古高会講座 演題「古仁屋高校生に伝えたいこと」

講師：社会福祉法人湘南福祉協会 理事長 田中 達三様

加計呂麻島瀬相出身の田中達三様をお招きして古高会講座を行いました。奄美大島での戦争体験や古仁屋高校の歴史を話していただきました。また、二度とない高校時代に互いに切磋琢磨し合い、厳しい批判者でもありよき理解者でもある友達をつくってほしい、片寄らない学習をし基本をしっかり学んでほしいなど、古仁屋高校生に対する熱いメッセージをたくさんいただきました。

表彰 おめでとう！



- 第47回鹿児島県高等学校書道展
- 準大賞 重山 葵 (全九州総文祭出場)
  - 高文連賞 田中 里奈
  - 秀作賞 園田 彩香 茨木 愛梨
  - 渡辺 穂
- 第27回鹿児島県高等学校書道展
- 高文連賞 田中 里奈
  - 優秀賞 園田 彩香 重山 葵



特選 岩木 香月

## 大学等出前講座 (1・2学年)

大学や短大、就職ガイダンスの講師による、授業や就職のためのガイダンスを受講しました。

看護専門学校の実習では、人体模型を使って採血を体験しました。



## クラスマッチ

- 男子 ソフトボール 優勝 2年2組
- 女子 バレーボール 優勝 3年2組



## 第十八回南九州市

かわなぐの俳句大会